

祭神 經津主神 武甕槌命 下照姬命

創立年代詳ならず、文徳天皇齊衡三年八月丁亥、從五位上に叙せられ、朱雀天皇天慶三年九月四日、當時從三位たりし當倭文社は正三位を奉授せられ、元々當國倭文神社二社あり、國史の授位何れなるか知らず、當社明細帳に依り、醍醐天皇の延喜の制式内小社に列せられ、當國六座の一にして、舊と三ノ宮明神と稱したり、神田は元と、壹町八反餘を有したりしが、年月不詳水害の爲め荒地となる、中世米子城主中村氏の爲め社領盡く沒收せらる、社殿は北朝嘉慶二年、國主山名時氏建立し、次いで永享十年同刑部大夫建立、天正二年又南條元續建立の事傳書あり、降つて寛永五年、天和三年、正徳五年國主又は豪族建立の事棟札に見え、近く享保十九年寶曆二年住民に造營を許さる、是より先盡く官營たり、明治四年郷社に列す、社殿は本殿、幣殿、拜殿、神樂殿、隨神門(兼神輿庫)等を具備し、境内千百廿坪(官有地第一種)あり。

例 祭 日 五月十五日

會計法適用 明治四十二年三月十五日

神饌幣帛料供進 明治四十年二月三日
指定年月日
氏子戸數 四十二戸
崇敬者員數 未詳

○鳥取縣伯耆國東伯郡小鴨村大字宮字大宮スロ
郷社 小鴨神社

祭神 大己貴命 少彥名命
合祭 建御名方神 句々能智命

創立年代詳ならず、傳へ云ふ、京都賀茂神社を勧請せるなり、故に社號を小鴨と稱す、谷名郷名河名亦皆呼ぶに小鴨を以てし、村名を大宮と稱し、隣村岩倉あり、北郷あり、北野に北野神あり、其の長に長谷寺あり、地名宛然京師の近郡を擬せり、古來郷内十八ヶ村の大社にして、小鴨大明神と稱す、後花園天皇寛正中、小鴨岩倉城主鴨部隠岐守久基、天正年間同城主小鴨左衛門尉元清等、何れも氏神として本社を崇敬し、今に奉納の寶物存せり、天文六年幡州赤粟郡領主宇野豊後守源村直、祈願の爲め額面を奉納す、其の他名和、山名、南條の諸氏營繕の事等ありしが、寛永九年池田氏入國以來祈願所とし、武運長久五穀成就、旱霖疫癘除却等を祈らる、古來小鴨大明神と稱し來りしが、寛文年間村名を取つて大宮大明神と改められ、嘉永年間社帳改正の際、故ありて大社の號を止し、大宮村産神と書す、明治元年、小鴨神社と復稱し、五年二月郷社に列す、社殿は本殿、幣殿、拜殿、其他廻廊、神輿庫、隨神門、籠所等を具備し、境内二千六百六十一坪(官有地第一種)あり、合祭神二神は、共に古來當社攝社たりしが、明治元年本社に合祭せらる。

例 祭 日 五月九日

會計法適用 明治四十二年三月十五日

神饌幣帛料供進 明治四十年二月三日
指定年月日
氏子戸數 五百六十五戸
崇敬者員數 未詳